

KaSpI 宇宙セミナー



史上最大級のエネルギーをもつ宇宙線「アマテラス粒子」の検出

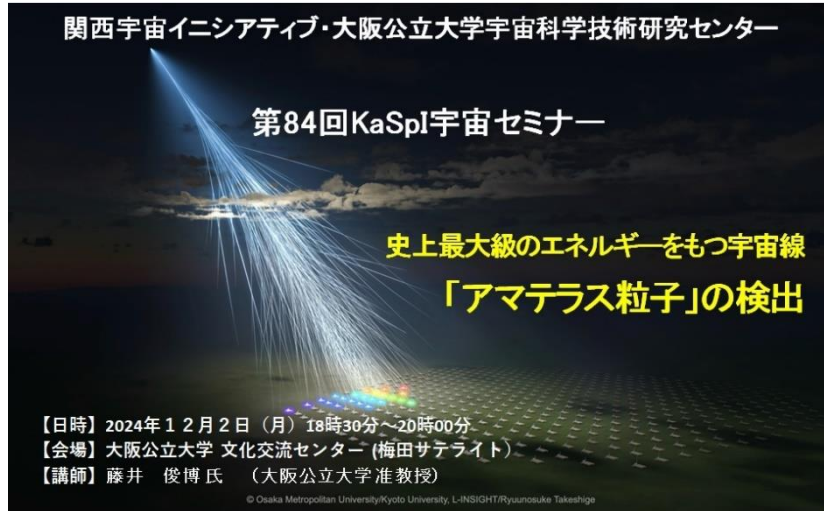
日時：2024年12月2日（月）18:30～20:00

場所：大阪公立大学 文化交流センター ホール（梅田サテライト）

講師：藤井俊博氏（大阪公立大学 准教授）

主催：関西宇宙イニシアティブ・大阪公立大学宇宙科学技術研究センター

協賛：日本航空宇宙学会関西支部



わたしたちの身の回りには、「宇宙線（うちゅうせん）」と呼ばれる高エネルギーの粒子がふりそそいでいます。1912年に発見された宇宙線には、10の20乗電子ボルト（=100エクサ電子ボルト）をこえる極めて高いエネルギーをもつ「極高エネルギー宇宙線」が地球へ到来していることが明らかになりました。極高エネルギー宇宙線が、どこでどのように生まれ、地球にやってきたかについては明らかになっておらず、宇宙における最大の謎のひとつとなっています。本講演では宇宙線の謎について紹介し、北半球最大の実験装置であるテレスコープアレイ実験、そして史上最大級のエネルギーをもつ宇宙線「アマテラス粒子」について解説します。

【講師紹介】 藤井 俊博（ふじい としひろ）

大阪公立大学大学院理学研究科 南部陽一郎物理学研究所 准教授

大阪市立大学大学院理学研究科後期博士課程修了、博士（理学）取得（2012年）。宇宙物理学者。学位取得後、シカゴ大学カブリ宇宙物理学研究所、東京大学宇宙線研究所での博士研究員、2018年より京都大学白眉センター（第9期）特定助教を経て、2022年より現職。専門は極高エネルギー宇宙線の観測的研究。テレスコープアレイ実験での宇宙線観測を進めながら、次世代計画へ向けた新型宇宙線望遠鏡の開発を主導している。日本物理学会若手奨励賞（2018年）、宇宙線研究者会議宇宙線物理学奨励賞（2018年）、大阪公立大学南部陽一郎記念若手奨励賞（2024年）、第42回大阪科学賞（2024年）受賞。奈良県出身。

右のQRコード/URLからお申し込みください。参加費は無料です。

NPO 法人関西宇宙イニシアティブ（KASPI）事務局

〒599-8531 堺市中区学園町1-1

大阪公立大学 小型宇宙機システム研究センター内

E-mail: kaspi[at]omu.ac.jp [at]→@



<https://forms.gle/v2oeEcSZmRd1E5948>